
ひとり暮らし高齢者実態把握調査 およびケアマネジャー調査、 高齢者向け住まいに関する調査 結果概要

1. 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法・回収状況	1
3) 結果の概要の見方	2
2. ひとり暮らし高齢者実態把握調査結果の概要.....	3
1) 経済状況	4
2) 健康状態	4
3) 福祉・介護などで困った時の相談相手・相談先.....	4
4) インターネットの接続状況.....	5
5) 外出の状況	5
6) 地域活動の状況	6
7) 日常生活で困っていること.....	7
3. ケアマネジャー調査結果の概要.....	8
1) ケアマネジャーの負担感について.....	8
2) 担当している利用者が最も多い日常生活圏域のサービスの状況について.....	9
3) ケアマネジメントについて.....	11
4) 医療と介護の連携について.....	12
5) 西宮市の高齢者支援について.....	13
4. 高齢者の住まいに関する調査結果の概要.....	14

1. 調査の概要

1) 調査の目的

①ひとり暮らし高齢者実態調査

第9期介護保険事業計画の策定に向けて、ひとり暮らし高齢者の情報収集や外出、就労、地域活動に関する実態・意識などを把握し、今後の高齢者福祉施策の推進の参考とするため、アンケート調査を行いました。

②ケアマネジャー調査

第9期介護保険事業計画の策定に向けて、ケアマネジャー自身の状況や意識等とともに、ケアマネジャーから見たサービス利用者やサービス提供体制、高齢者の支援体制の状況・課題などを把握するために、アンケート調査を実施しました。

③高齢者向け住まいに関する調査

第9期介護保険事業計画の策定に向けて、介護保険サービス以外の高齢者住宅の実態を把握し、施設の整備計画等の今後の高齢者福祉施策の推進の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2) 調査の方法・回収状況

調査名	①ひとり暮らし高齢者 実態把握調査	②ケアマネジャー調査	③高齢者向け住まいに 関する調査
調査対象	令和3年度に実施した民生委員・児童委員による高齢者実態把握調査において、ひとり暮らしと報告をうけた方のうち70歳以上で要介護認定を受けていない人 男性 900人（無作為抽出） 女性 900人（無作為抽出）	居宅介護支援事業所や小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅看護事業所に勤務しているケアマネジャー ※市内の上記事業所（162事業所）に4部ずつ	令和4年12月1日現在、西宮市が把握している住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅（特定施設以外）40施設
調査方法	郵送による配布・回収		
調査期間	令和4年12月15日～ 令和5年1月18日	令和4年12月15日～令和5年1月6日	
有効回収数	1,067部	333部	21部
有効回収率	59.3%	—	52.5%

3) 結果の概要の見方

- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は、少数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- クロス集計の図表内の「全体」には、性別不明、年齢不明、クロス項目が不明分も含まれます。
- クロス集計の結果については、各クロス項目において、他のクロス項目と比べて統計的に明らかな差異（統計的有意差）^{*}を確認し、整理しています。

※ 統計的に明らかな差異（統計的有意差）については、 χ^2 二乗検定により主に有意水準1% ($p < 0.01$) で確認しました。

なお、 χ^2 二乗検定は、回答者数から不明・無回答数を除いたデータ（実回答者数）で検定を行っているため、該当するクロス項目の「不明・無回答」の割合が大きいケースなどでは、検定結果として文章で記載している内容とクロス集計図表内のデータ（割合）とが対応しないことがあります。

また、ある選択肢について、該当するクロス項目の回答者数が、他のクロス項目と比べて明らかに少ない場合、 χ^2 二乗検定による統計的有意差を確認できていない場合があります。

2. ひとり暮らし高齢者実態把握調査結果の概要

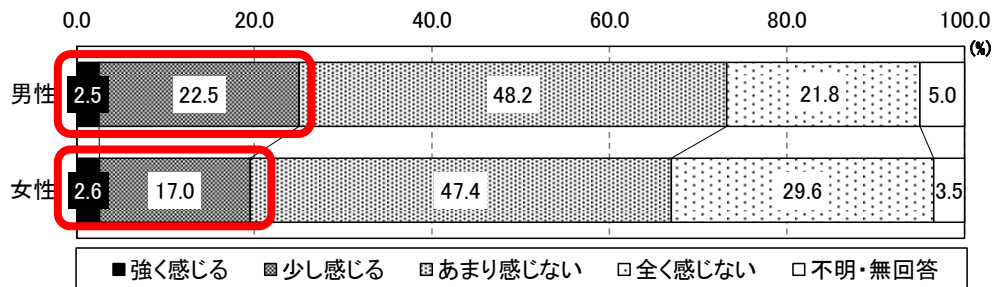
独居高齢者のなかでさらに「しんどい人」を以下のように設定し、それ以外の独居高齢者と比較分析を実施しました。比較分析の主な結果は次頁以降を参照ください。

「しんどい人」＝「孤独感があり※1」かつ「幸福度4点以下※2」と定義

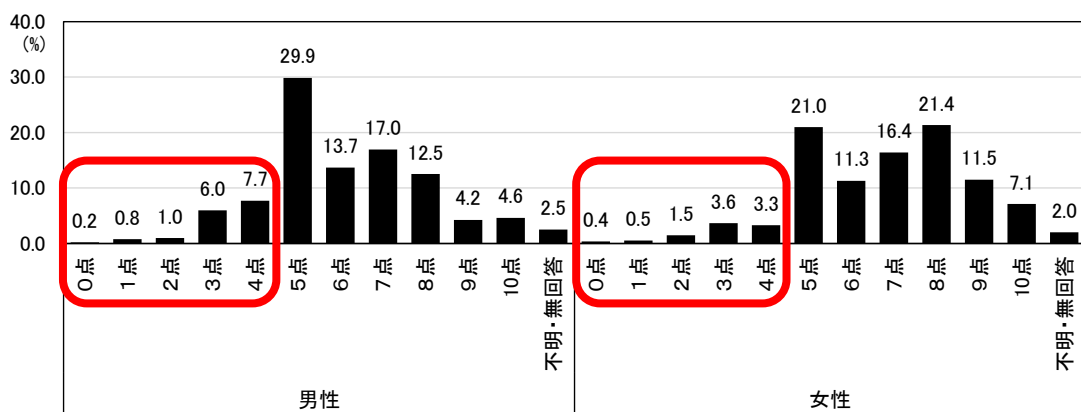
※1：ひとり暮らし高齢者実態把握調査問1－11（居場所がない・問題をひとりで抱えていると感じますか）で「1. 強く感じる」または「2. 少し感じる」と回答した人。

※2：ひとり暮らし高齢者実態把握調査問1－7（あなたは、現在どの程度幸せですか）において、幸福度を0～10点（点数が高いほど幸福）で0～4点と回答した人。（5点の回答が最も多かったため4点以下を“しんどい”層と設定）

● 孤立感…居場所がない・問題をひとりで抱えていると感じるか【問1－11】

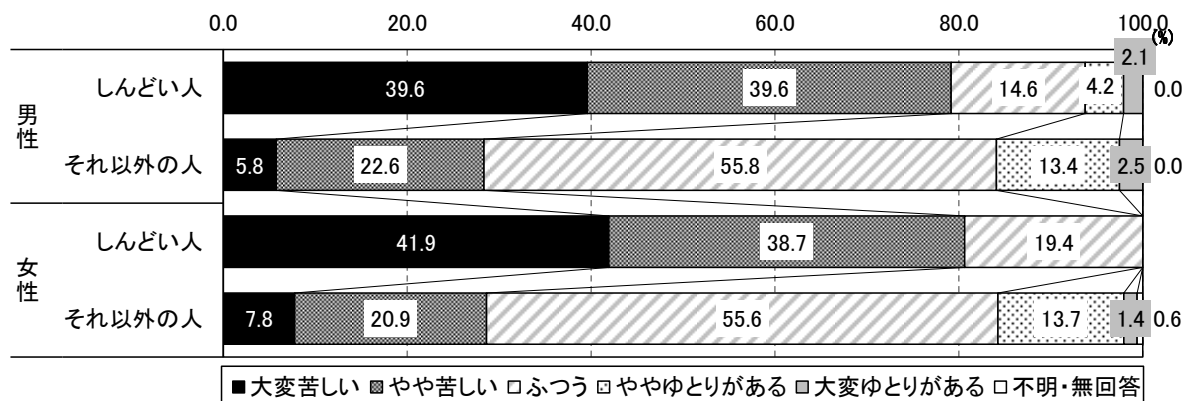


● 幸福感…あなたは現在どの程度幸せか（0～10点：高いほど幸せ）【問1－7】



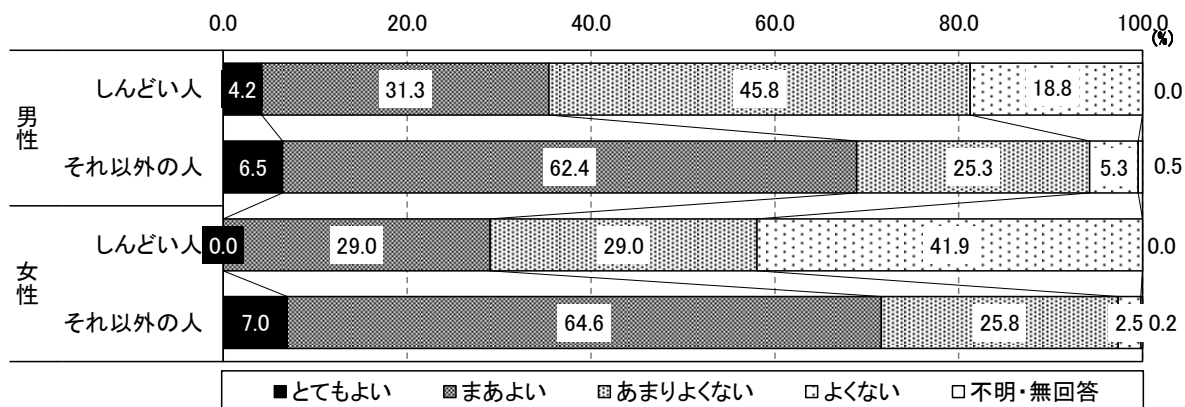
1) 経済状況【問1—3】

- 男女ともしんどい人は、それ以外の人と比べ、経済状況について「大変苦しい」「やや苦しい」が多くなっています。



2) 健康状態【問1—5】

- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、健康状態について「あまりよくない」「よくない」が多く、女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「よくない」が多くなっています。



3) 福祉・介護などで困った時の相談相手・相談先【問1—14】

- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「誰(どこ)に相談すればよいか、わからない」が多くなっています。

性別	しんどい人	それ以外の人
男性 (n=48)	37.5	38.0
女性 (n=31)	51.6	75.1
男性 (n=48)	29.2	21.7
女性 (n=31)	25.8	31.1
男性 (n=48)	27.1	60.1
女性 (n=31)	22.6	48.9
男性 (n=48)	22.9	35.7
女性 (n=31)	16.1	17.0
男性 (n=48)	16.7	20.7
女性 (n=31)	12.9	24.5
男性 (n=48)	8.3	16.6
女性 (n=31)	12.9	23.1
男性 (n=48)	6.3	13.6
女性 (n=31)	9.7	20.4
男性 (n=48)	6.3	4.6
女性 (n=31)	3.2	3.3
男性 (n=48)	0.0	1.2
女性 (n=31)	0.0	1.4
男性 (n=48)	14.6	4.1
女性 (n=31)	3.2	1.0
男性 (n=48)	2.1	2.5
女性 (n=31)	3.2	0.4
男性 (n=48)	0.0	0.9
女性 (n=31)	6.5	1.2

4) インターネットの接続状況【問2-2】

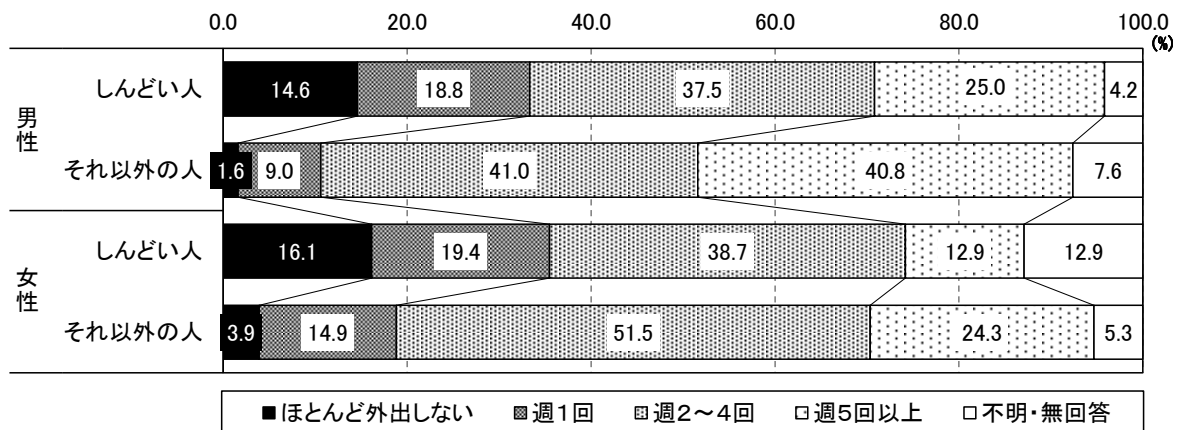
- 男女ともしんどい人は、それ以外の人と比べ、「インターネットを利用していない」が多くなっています。

男性	しんどい人 (n=48)	それ以外の人 (n=434)	女性	しんどい人 (n=31)	それ以外の人 (n=489)
パソコン	20.8	39.4	スマートフォン	12.9	35.2
スマートフォン	20.8	38.0	パソコン	9.7	16.6
携帯電話	12.5	12.9	携帯電話	9.7	16.2
タブレット	2.1	9.9	タブレット	3.2	7.4
テレビ・ゲーム機	2.1	3.5	テレビ・ゲーム機	3.2	4.5
その他	0.0	1.4	その他	0.0	0.4
インターネットを使用していない	45.8	28.6	インターネットを使用していない	58.1	27.4
不明・無回答	14.6	11.5	不明・無回答	19.4	22.1

5) 外出の状況

(1) 外出の頻度【問3-1】

- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「ほとんど外出しない」「週1回」が多く、女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「ほとんど外出しない」が多くなっています。



(2) 日常生活に必要な外出でよく行くところ【問3-3】

- 女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「病院・診療所等への通院」が多くなっています。
- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、日常生活に必要な外出でよく行くところに大きな差異はありません。

男性	しんどい人 (n=28)	それ以外の人 (n=221)	女性	しんどい人 (n=21)	それ以外の人 (n=207)
食料品・日用品の買い物	93.8	91.7	病院・診療所等への通院	87.1	69.5
病院・診療所等への通院	64.6	66.1	食料品・日用品の買い物	67.7	89.6
床屋・美容院・銭湯等の利用	43.8	43.8	床屋・美容院・銭湯等の利用	35.5	46.6
市役所・銀行・郵便局等での手続き	39.6	48.8	市役所・銀行・郵便局等での手続き	32.3	58.9
昼食・夕食などの自宅外での飲食	14.6	28.6	昼食・夕食などの自宅外での飲食	6.5	22.1
仕事・就労	6.3	15.7	仕事・就労	3.2	6.1
デイサービス等の福祉施設の利用	0.0	2.8	デイサービス等の福祉施設の利用	0.0	5.3
その他	0.0	5.3	その他	0.0	6.3
特になし	2.1	0.2	特になし	3.2	0.6
不明・無回答	4.2	4.6	不明・無回答	6.5	3.3

(3) ついでに行くところ【問3-4】

- 男女ともしんどい人は、それ以外の人と比べ、「特にない」が多くなっています。

男性	しんどい人 (n=28)	それ以外の人 (n=221)	女性	しんどい人 (n=21)	それ以外の人 (n=207)
本屋や雑貨店等の食料品・日用品以外の買い物	33.3	35.9	本屋や雑貨店等の食料品・日用品以外の買い物	22.6	44.0
コンビニエンスストア	25.0	37.1	商業施設や市役所内の休憩・飲食場所	16.1	13.9
公園・緑地・遊歩道等自然が感じられる場所	20.8	22.6	喫茶・軽食・居酒屋	16.1	22.3
商業施設や市役所内の休憩・飲食場所	16.7	21.9	コンビニエンスストア	16.1	29.7
喫茶・軽食・居酒屋	16.7	22.4	公園・緑地・遊歩道等自然が感じられる場所	12.9	22.7
図書館・公民館・美術館など	10.4	14.1	親族や知人の家	12.9	17.2
親族や知人の家	10.4	11.8	マッサージ・トレーニング施設	6.5	11.7
パチンコ店などの娯楽施設	6.3	2.5	図書館・公民館・美術館など	3.2	17.8
マッサージ・トレーニング施設	2.1	5.1	パチンコ店などの娯楽施設	3.2	0.6
その他	0.0	3.5	その他	6.5	2.2
特にない	25.0	14.3	特にない	25.8	13.1
不明・無回答	6.3	7.4	不明・無回答	6.5	6.1

6) 地域活動の状況

(1) 地域活動の参加状況【問5-1】

- 女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「地域での活動に参加していない(参加したことがない)」が多くなっています。
- 男女ともしんどい人は、それ以外の人と比べ、「文化・芸術・スポーツ・体操などのサークル活動」が少なくなっています。

男性	しんどい人 (n=48)	それ以外の人 (n=434)	女性	しんどい人 (n=31)	それ以外の人 (n=489)
自治会・町内会等の自治活動	29.2	26.0	自治会・町内会等の自治活動	16.1	28.2
道路や公園などの清掃活動	10.4	18.9	文化・芸術・スポーツ・体操などのサークル活動	6.5	22.3
防犯・防災活動	4.2	3.7	道路や公園などの清掃活動	6.5	20.0
文化・芸術・スポーツ・体操などのサークル活動	2.1	15.2	資源回収やごみの分別などのリサイクル活動	3.2	10.0
祭り・盆踊り・運動会などのイベント	2.1	6.2	祭り・盆踊り・運動会などのイベント	3.2	6.7
高齢者・障害のある人への支援等の福祉活動	2.1	1.8	高齢者・障害のある人への支援等の福祉活動	3.2	3.1
資源回収やごみの分別などのリサイクル活動	0.0	6.5	募金活動	3.2	2.5
募金活動	0.0	2.8	防犯・防災活動	0.0	1.4
子ども同士や親子の交流会・サークル等の活動	0.0	0.7	子ども同士や親子の交流会・サークル等の活動	0.0	0.4
地域の居場所、サロン等の活動	0.0	3.0	地域の居場所、サロン等の活動	0.0	5.7
その他	2.1	2.1	その他	0.0	2.2
地域での活動に参加していない(参加したことがない)	58.3	50.9	地域での活動に参加していない(参加したことがない)	67.7	42.3
不明・無回答	8.3	3.2	不明・無回答	3.2	4.9

(2) 地域活動に参加していない理由【問5-2】

- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「活動する友人・仲間がいないから」が多く、女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ「参加の仕方がわからないから」が多くなっています。

男性	しんどい人 (n=28)	それ以外の人 (n=221)	女性	しんどい人 (n=21)	それ以外の人 (n=207)
健康に自信がないから	39.3	28.5	健康に自信がないから	38.1	34.8
活動する友人・仲間がいないから	35.7	19.0	参加の仕方がわからないから	23.8	8.7
興味のある活動がないから	21.4	19.9	活動する友人・仲間がいないから	23.8	15.5
地域活動自体に興味がないから	21.4	21.7	活動内容がわからないから	14.3	7.2
参加の仕方がわからないから	17.9	9.5	興味のある活動がないから	9.5	16.4
活動内容がわからないから	3.6	8.1	地域活動自体に興味がないから	9.5	10.6
活動が閉鎖的で入りづらいから	3.6	2.7	活動するのにお金がかかるから	4.8	0.5
照れくさいから	3.6	3.2	時間が足りない・忙しいから	0.0	12.6
活動するのにお金がかかるから	3.6	0.0	家族や会社など周囲の理解が得られないから	0.0	0.0
無償の活動だから	3.6	0.5	活動が閉鎖的で入りづらいから	0.0	2.4
時間が足りない・忙しいから	0.0	14.0	照れくさいから	0.0	1.9
家族や会社など周囲の理解が得られないから	0.0	0.5	自分にメリットがないから	0.0	1.4
自分にメリットがないから	0.0	4.1	無償の活動だから	0.0	0.0
その他	7.1	10.9	その他	19.0	17.9
不明・無回答	7.1	5.0	不明・無回答	14.3	7.7

7) 日常生活で困っていること【問6-1】

- 男性のしんどい人は、それ以外の人と比べ、「収入・経済面のこと」と「介護サービスのことが多く、女性のしんどい人は、それ以外の人と比べ「健康や病気のこと」や「収入・経済面のこと」「住まいのこと」「介護サービスのこと」が多くなっています。

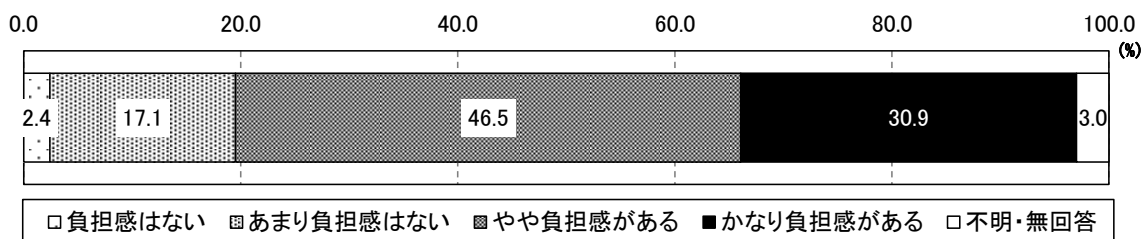
男性	しんどい人 (n=28)	それ以外の人 (n=221)	女性	しんどい人 (n=21)	それ以外の人 (n=207)
健康や病気のこと	72.9	54.6	健康や病気のこと	77.4	47.6
収入・経済面のこと	41.7	16.8	収入・経済面のこと	38.7	13.5
家事のこと	25.0	19.1	住まいのこと	25.8	11.2
介護サービスのこと	22.9	9.9	介護サービスのこと	22.6	9.4
住まいのこと	20.8	10.4	移動・外出のこと	16.1	13.9
移動・外出のこと	18.8	9.4	家事のこと	12.9	9.4
施設入所のこと	18.8	9.7	施設入所のこと	9.7	10.8
相続のこと	14.6	8.8	運動のこと	6.5	3.7
運動のこと	8.3	5.8	相続のこと	3.2	4.9
その他	20.8	27.6	その他	19.4	38.2
不明・無回答	8.3	16.8	不明・無回答	9.7	17.8

3. ケアマネジャー調査結果の概要

1) ケアマネジャーの負担感について

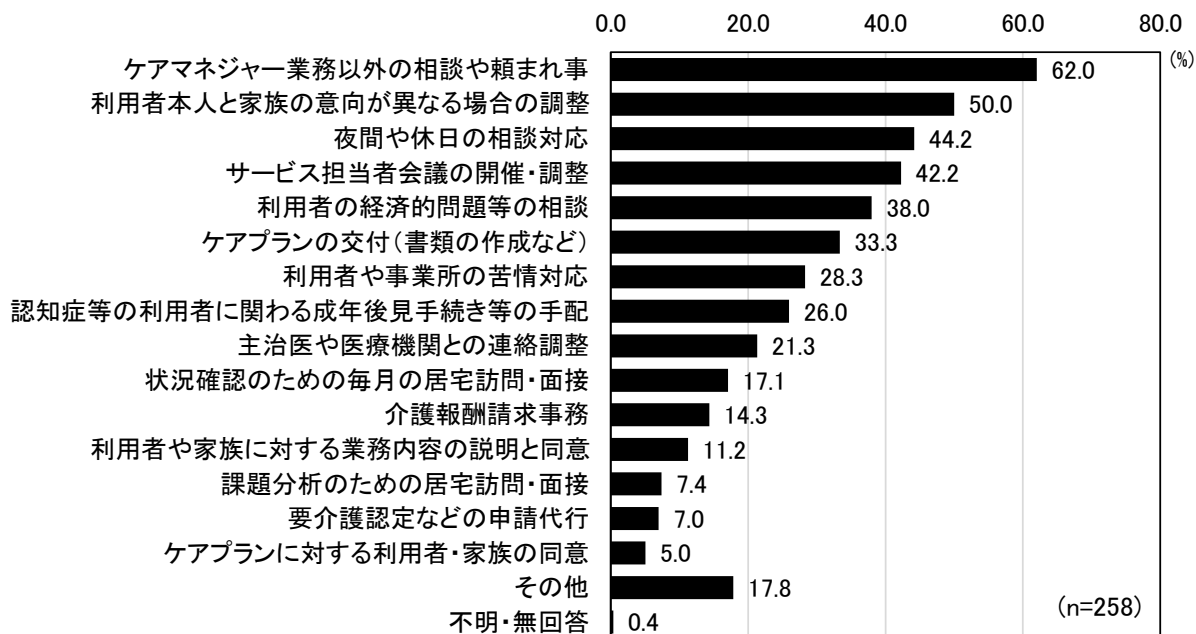
(1) 負担感の状況【問1-4】

- 業務全般に関する負担感については、「やや負担感がある」が46.5%で最も多く、「かなり負担感がある」(30.9%)、「あまり負担感はない」(17.1%)がつづいています。
- 業務全般に負担感を持つケアマネジャーは77.4%となっています。



(2) 負担となっている業務内容【問1-4-1】

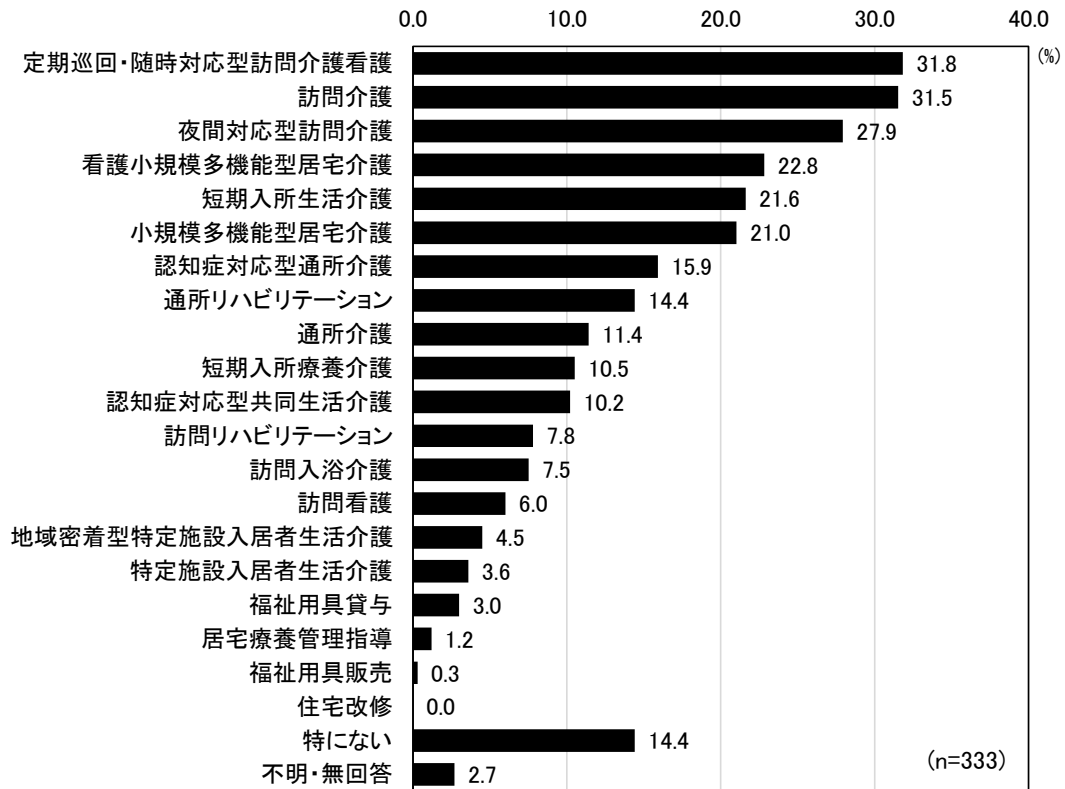
- 業務に負担感を持つケアマネジャーについて、負担となっている業務内容をみると、「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれ事」が62.0%で最も多く、「利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整」(50.0%)、「夜間や休日の相談対応」(44.2%)がつづいています。



2) 担当している利用者が最も多い日常生活圏域のサービスの状況について

(1) 特に不足していると思われる介護保険サービス【問2-1】

- 特に不足していると思われる介護保険サービスについては、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が31.8%で最も多く、「訪問介護」(31.5%)、「夜間対応型訪問介護」(27.9%)がつづいており、地域密着型サービスと訪問介護が上位を占めています。



(2) 在宅生活を支えるために特に必要と感じるサービス(インフォーマルサービス含む)

【問2-3・2-4】

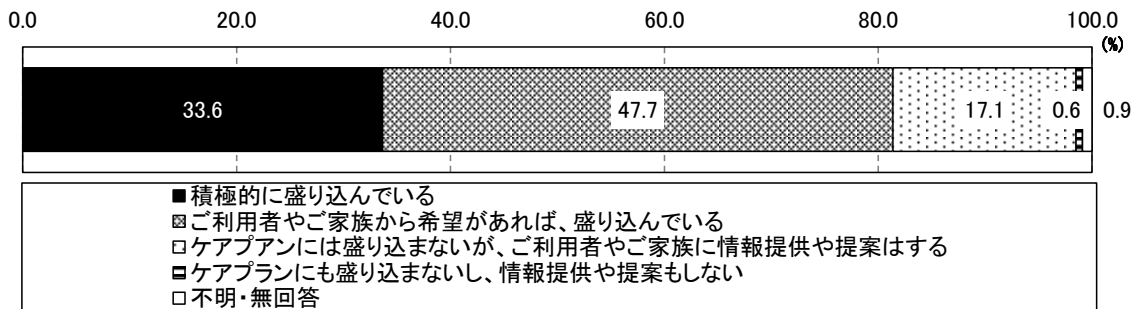
- 要支援認定利用者で特に必要と感じるサービスについては、「相談・話し相手の訪問サービス」が43.2%で最も多く、「病院への送迎・通院介助」(35.7%)、「見守りや安否確認等の声かけ」(35.4%)がつづいています。
- 要介護認定利用者で特に必要と感じるサービスについては、「緊急時の短期入所サービス」が39.3%で最も多く、「夜間のホームヘルプサービス」(36.9%)、「病院への送迎・通院介助」(33.3%)がつづいています。
- 要支援認定利用者については生活支援などに関するサービス、要介護認定利用者については夜間・緊急時や医療に関連するサービスが上位を占めています。また、要支援認定利用者と要介護認定利用者ともに「病院への送迎・通院介助」は上位に入っています。

要支援認定の利用者		要介護認定の利用者	
相談・話し相手の訪問サービス	43.2	緊急時の短期入所サービス	39.3
病院への送迎・通院介助	35.7	夜間のホームヘルプサービス	36.9
見守りや安否確認等の声かけ	35.4	病院への送迎・通院介助	33.3
ごみ出し、掃除、買い物等の訪問サービス	32.4	歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療	27.3
移送・送迎、外出支援サービス	28.8	医療対応のある通所サービス	20.4
入浴のみの短時間の通所サービス	21.3	入浴のみの短時間の通所サービス	18.3
リハビリのみの短時間の通所サービス	15.9	家族が休むための短期入所サービス	16.8
歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療	9.9	見守りや安否確認等の声かけ	16.2
緊急時の短期入所サービス	9.9	移送・送迎、外出支援サービス	15.6
子どもと交流する通所サービス	8.4	ごみ出し、掃除、買い物等の訪問サービス	9.6
食事のみの短時間の通所サービス	7.8	夜間の訪問看護	9.3
家族が休むための短期入所サービス	3.6	相談・話し相手の訪問サービス	8.4
夜間のホームヘルプサービス	3.3	食事のみの短時間の通所サービス	3.0
医療対応のある通所サービス	2.1	リハビリのみの短時間の通所サービス	2.4
夜間の訪問看護	0.6	子どもと交流する通所サービス	1.8
訪問理美容サービス	0.6	訪問理美容サービス	1.8
その他	2.7	その他	2.7
特にない	0.0	特にない	0.0
不明・無回答	6.6	不明・無回答	9.3

3) ケアマネジメントについて

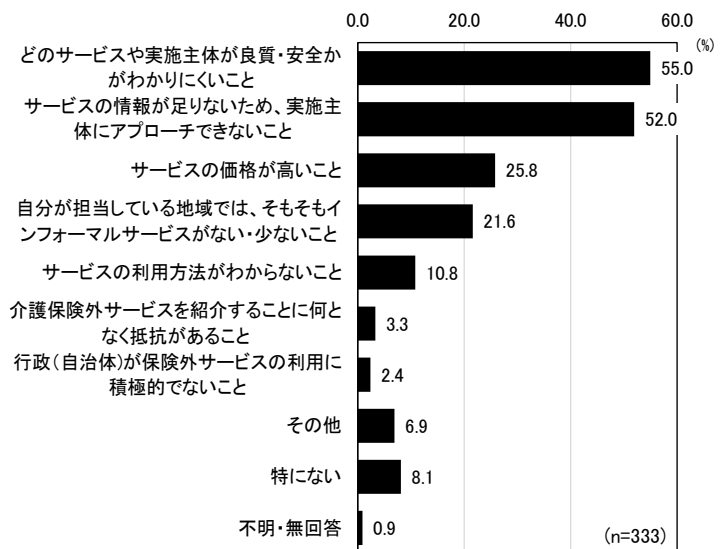
(1) インフォーマルサービスのケアプランへの反映状況【問6-2】

- インフォーマルサービスのケアプラン盛込み度については、「ご利用者やご家族から希望があれば、盛り込んでいる」が47.7%で最も多く、「積極的に盛り込んでいる」(33.6%)、「ケアプランには盛り込まないが、ご利用者やご家族に情報提供や提案はする」(17.1%)がつづいています。
- インフォーマルサービスをケアプランに盛り込んでいるケアマネジャーは81.3%となっています。



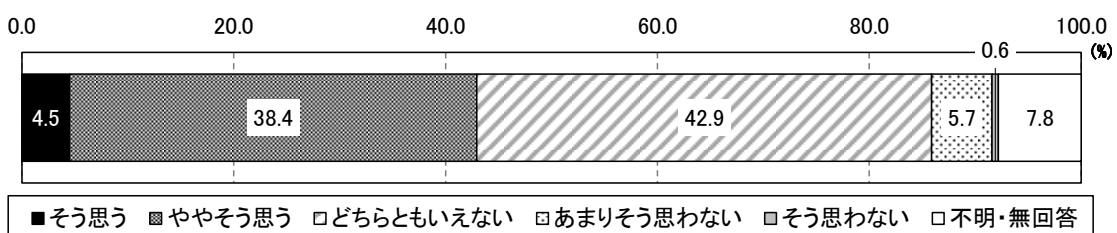
(2) インフォーマルサービスをケアプランに反映する際に苦労していること【問6-3】

- インフォーマルサービスの情報提供で難しいと感じること・苦労していることについては、「どのサービスや実施主体が良質・安全かがわかりにくいこと」が55.0%で最も多く、「サービスの情報が足りないため、実施主体にアプローチできないこと」(52.0%)、「サービスの価格が高いこと」(25.8%)がつづいています。
- 特に上位2項目についてはインフォーマルサービスの情報不足に起因していることがうかがえます。



(3) 自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているか【問6-5】

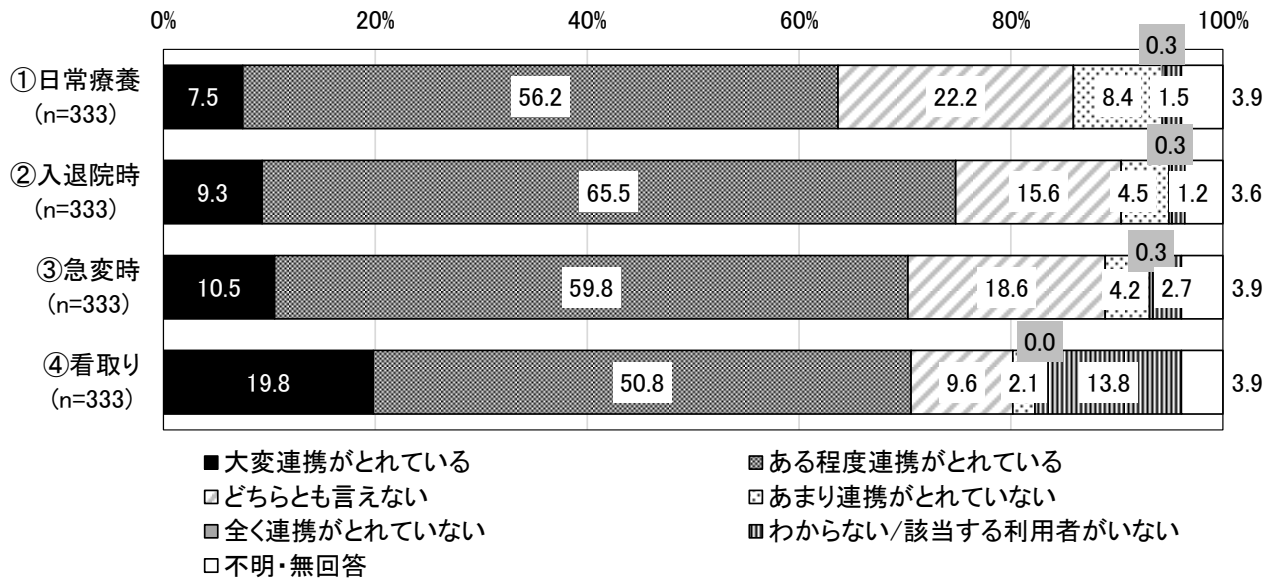
- 自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているかについては、「どちらともいえない」が42.9%で最も多く、「ややそう思う」(38.4%)、「あまりそう思わない」(5.7%)がつづいています。
- 自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているかと思う(「そう思う」+「ややそう思う」)ケアマネジャーは42.9%となっています。



4) 医療と介護の連携について

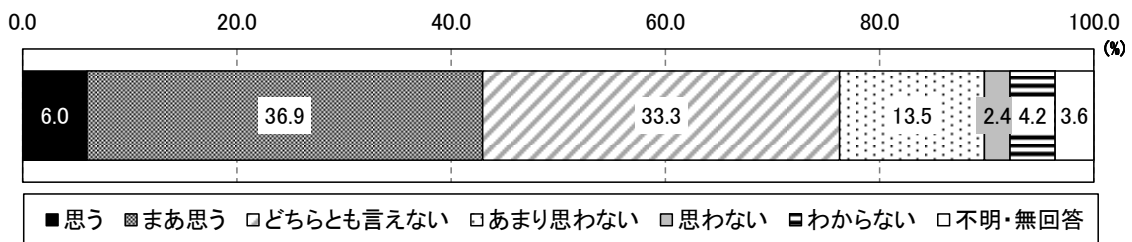
(1) 各場面での医療と介護の連携状況【問7-1】

- 在宅医療の各場面について、医療と介護の連携が取れていると思う（「大変連携が取れている」＋「ある程度連携が取れている」）ケアマネジャーの割合をみると、日常療養で 63.7%、入退院時で 74.8%、急変時で 70.3%、看取りで 70.6%となっています。



(2) 医療介護連携に向けた多職種で顔の見える関係の構築について【問7-2】

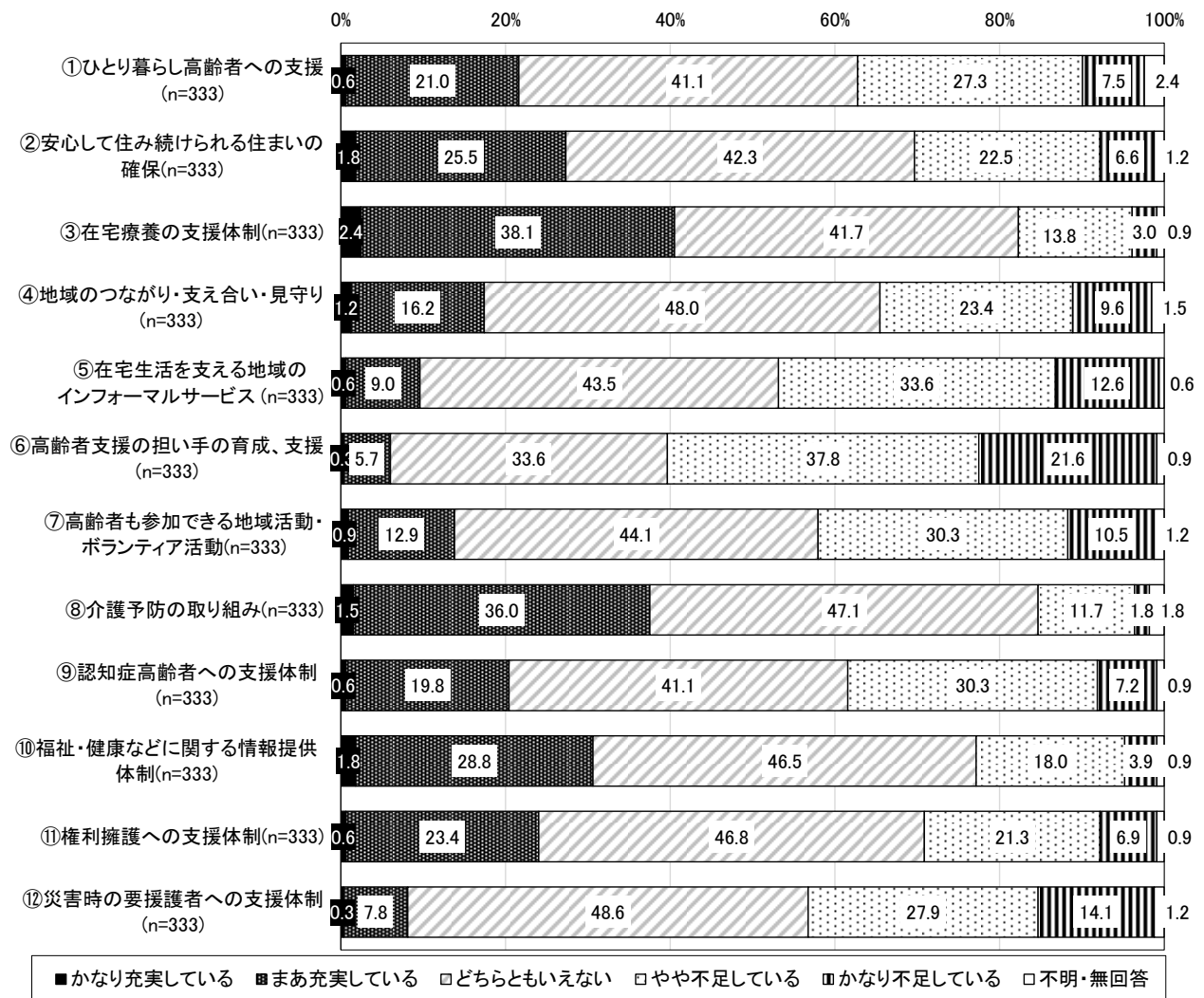
- 医療介護連携に向けて多職種で顔の見える関係が構築されているかについては、「まあ思う」が 36.9%で最も多く、「どちらとも言えない」(33.3%)、「あまり思わない」(13.5%)がつづいています。
- 医療介護連携に向けて多職種で顔の見える関係が構築されていると思う（「思う」＋「まあ思う」）ケアマネジャーは 42.9%となっています。



5) 西宮市の高齢者支援について

- ケアマネジャーの立場からみた西宮市の高齢者支援の状況について、充実度（「かなり充実している」＋「まあ充実している」）をみると、『③在宅療養の支援体制』と『⑧介護予防の取り組み』では40%前後を占めて、他の支援より高くなっています。

一方、『⑥高齢者支援の担い手の育成、支援』や『⑤在宅生活を支える地域のインフォーマルサービス』『⑫災害時の要援護者への支援体制』では10%前後にとどまっており、他の支援より充実度が低くなっています。特に、『⑥高齢者支援の担い手の育成、支援』については「かなり不足している」が21.6%と多くなっています。



4. 高齢者の住まいに関する調査結果の概要

1) 入居者の状況について【令和4年12月1日現在】

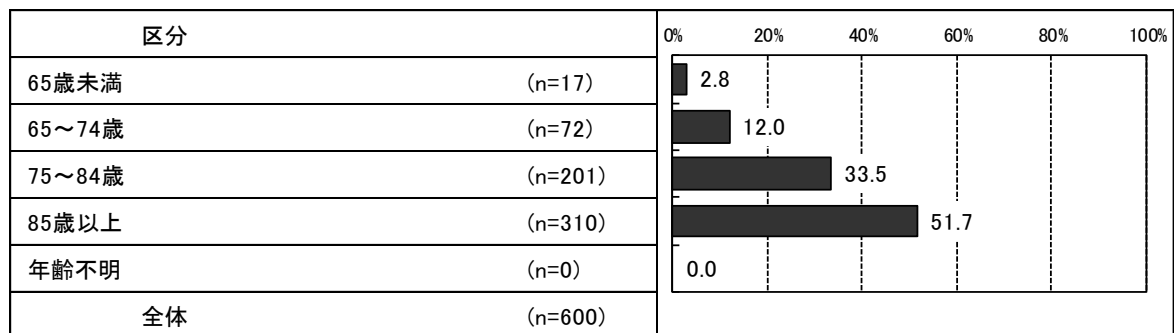
(1) 入居状況【問2-1】

- 回答のあった高齢者向け住まい（住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅（特定施設以外））の入居状況をみると、全戸数843戸に対して、入居戸数は568戸で入居率（戸数に対する入居戸数の割合）は67.4%となっています。

	戸数	入居戸数	入居率	入居者総数
単身向け	582戸	400戸	68.7%	380人
世帯・夫婦向け	261戸	168戸	64.4%	220人
合計	843戸	568戸	67.4%	600人

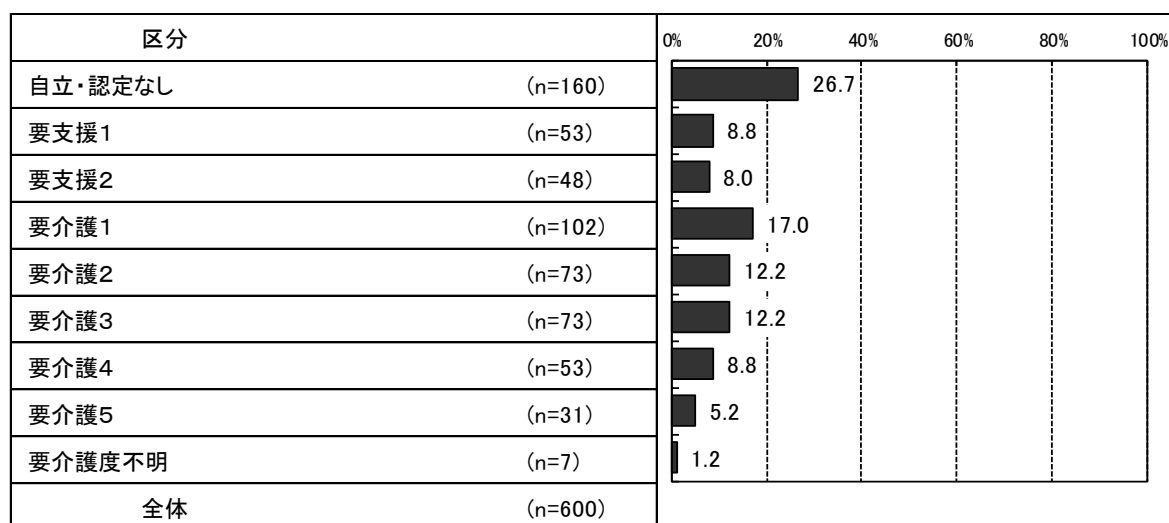
(2) 入居者の年齢【問2-2】

- 高齢者向け住まい入居者の年齢構成をみると、「85歳以上」が51.7%で最も多く、「75～84歳」(33.5%)、「65～74歳」(12.0%)がつづき、後期高齢者（75歳以上）が85.2%を占めています。



(3) 入居者の要介護度・認知症の状況【問2-2】

- 高齢者向け住まい入居者の要介護度の状況をみると、「自立・認定なし」が26.7%で最も多く、「要介護1」(17.0%)、「要介護2」と「要介護3」がともに12.2%でつづいています。また、要介護認定者(要介護1～5)は55.4%、重度認定者(要介護3以上)は26.2%を占めています。



- 高齢者向け住まい入居者で認知症がみられる人^{※1}は全体で210人となっており、認知症の症状がみられる方を把握している施設の入所者総数(505人)に占める割合は41.6%となっています。
- 認知症の症状がみられる人を要介護度別でみると、要介護1～3では入居者の6割前後を認知症の症状がみられる人が占めており、要介護4では80.9%、要介護5では96.2%を占めています。
- 要介護3以上かつ認知症がみられる人(下表の太枠内)は104人となっており、施設の入所者総数(505人)に占める割合は20.6%、要介護認定を受けている入所者数(282人)に占める割合は36.9%となっています。

	自立・認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護度不明	全体
入居者数 ^{※2}	127人	46人	43人	86人	60人	63人	47人	26人	7人	505人
うち認知症の症状がみられる方の人数	6人	3人	7人	53人	34人	41人	38人	25人	3人	210人
入居者数に占める割合	4.7%	6.5%	16.3%	61.6%	56.7%	65.1%	80.9%	96.2%	42.9%	41.6%

※1：高齢者の認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb(見られる症状・行動例：服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等)以上

※2：認知症の症状がみられる方を把握している施設の入居者数